

7/29 「風舞あんどん」が 旭川市内を練り歩く



旭川市永山で行われた「永山屯田まつり」の「屯山あんどん西流し」に「風舞あんどん」が出場しました。これは「永山屯田まつり」が今年で20周年の節目を迎え、同実行委員会から参加の呼び掛けがあった。当日は、市内有志などで構成されたメンバー約50人が「風舞あんどん」1基とともに、約4キロメートルのコースを3時間半かけて練り歩き、祭りを盛り上げながら名寄市をPRしてきました。

友好交流都市・東京都杉並区と風連地域の子もたち47人による交流会が7月28日～31日は北海道会場、8月5日～8日は東京会場で行われました。北海道会場の羽幌町で体験した地引き網では、大量に捕れたエビやフグに歓声をあげ、風連市街で行ったウオークラリーでは東京の子もたちにとつて初めて見る無人駅や風連の味覚を楽しみました。東京会場では昔ながらの銭湯に入湯するなど、子どもたちは貴重な体験を共有しながら、地域を越えた友情を育んでいました。



7/28-31、8/5-8 杉並・風連子ども交流会

7/30 サンピラー国体記念 第4回サマージャンプ大会

サンピラー国体記念第4回サマージャンプ大会がピヤシリシャンツェノーマルヒルで行われ、女子12人、少年66人、成年69人が出場しました。

この日は、絶好の競技日和で、会場には大勢の人々が訪れ、選手が大きなジャンプをすると会場からは大きな拍手と歓声が上がっていました。



8/9 縄文クッキング体験

北国博物館主催「夏み縄文クッキング体験」が同博物館の屋外で行われ、親子9人が参加しました。

参加した親子たちは、同博物館で縄文土器を再現して作った道具や、木製の調理器具を使い、調理を行いました。木を使って火を起こすところから始まり、シラカバの皮などを使って徐々に火を大きくしていき、メニエーはシカ肉のハンバーグ、サケの味噌汁、土器でゆでたジャガイモと薪ストーブで炊いたご飯。できあがった料理は参加者全員でおいしくいただきました。



野外体験学習事業「へっちやLAND2006」が行われ、小学4年生から中学1年生までの37人が参加しました。また、サブリーダーとして市立大学と市立名寄短期大学の学生13人が協力しました。

トムテ文化の森でテントを張り、集団生活を行いながら、炭焼きや名寄川でカヌーなどを体験。9日は、九度山の登山に挑戦するなど、子どもたちにとって思い出の多い夏休みとなりました。



8/8-11 へっちやLAND2006 九度山の頂を目指す



8/17・18 市民納涼盆踊り

市民納涼盆踊り大会が南広場で開催されました。

やぐらを中心に、まずは「ちびっこ集まれ！子ども盆踊り」が行われると、太鼓の音色に合わせて、子どもから大人までが大きな輪を作って笑顔浮かべながら踊ってました。

この盆踊り大会は、昭和46年から毎年行われ、今年は平成13年以来の仮装盆踊りが復活し、団体の部に9組、個人の部に7人が出場しました。それぞれユニークな衣装などで会場に集まった人たちの目を楽しませていました。